

平成24年度 第1回高山市教育委員会定例会議事録

1. 日 時 平成24年4月23日（月） 午前10時から
2. 場 所 高山市役所 302会議室
3. 出席者 委 員 弓削委員長、打江委員、保谷委員、北村委員、中村教育長
事務局 関事務局長、野畑教育総務課長、中野谷学校教育課長、文化財課松井、
教育総務課清水
4. 署名者 保谷委員

午前10時開会

○弓削委員長 本日の委員会は、出席委員5名で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定に基づき、定足数に達していますので、成立しております。ただ今から、平成24年度第1回高山市教育委員会定例会を開会いたします。

○弓削委員長 会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、「保谷委員」を指名いたします。

○弓削委員長 前回定例会の会議録の承認を行います。前回定例会の会議録について「北村委員」お願いいたします。

（北村委員 報告）

○弓削委員長 それでは、前回定例会の会議録について、ご承認いただけますでしょうか。

（異議なし）

○弓削委員長 前回の会議録は、調製のとおり承認されました。

○弓削委員長 次に議事に入る前に、平成24年4月1日人事異動に伴い、事務局及び市民活動部職員に変更がありましたので、事務局から報告をお願いします。

（教育委員会事務局及び市民活動部 あいさつ）

○弓削委員長 次に、中村教育長から報告がございます。

（教育長報告）

○弓削委員長 それでは、日程第1、議第1号「平成24年度要保護及び準要保護児童生徒

の認定について」を議題といたしますが、当議題につきましては内容に個人に関する情報が含まれておりますので、法律第13条第6項ただし書の規定により、公開しないこととしたいと思います。

○弓削委員長 それでは、ただ今お諮りしました議第1号は、公開しないこととすることにご異議ございませんか。

(異議なし)

○弓削委員長 ご異議なしと認めます。よって、議第1号は、公開しないことに決しました。

○弓削委員長 それでは、改めまして日程第1、議第1号「平成24年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について」を議題といたします。
事務局より説明願います。

○中野谷学校教育課長 <資料に基づき説明>非公開

○弓削委員長 事務局の説明は終わりました。ご質疑等はありませんか。

(非公開)

○弓削委員長 ご質疑も尽きたようでありますから、以上で質疑等を終結いたします。

○弓削委員長 それでは、ただ今議題となっております議第1号について、事務局説明のとおり決するにご異議ございませんか。

(異議なし)

○弓削委員長 ご異議なしと認めます。よって、議第1号について、事務局説明のとおり決しました。

○弓削委員長 次に、日程第2、議第2号「岐阜県教科用図書飛騨地区採択協議会の設置について」を議題といたします。
事務局より説明願います。

○中野谷学校教育課長 <資料に基づき説明>

○弓削委員長 事務局の説明は終わりました。ご質疑等はありませんか。

○中村教育長 採択委員は内諾を得ていますか。

○中野谷学校教育課長 内諾は得ています。

○弓削委員長 採択協議会は年に何回開催されますか。

○中野谷学校教育課長 今年は5月と7月に2回開催する予定です。

○北村委員 専門の先生による内容の協議は行われるのですか。

○中野谷学校教育課長 今年は4年に1回の採択替えの年ではないため、先生方による調査研究は行われません。

○弓削委員長 4年間のうちには世界情勢も変わるなど、いろいろと変化があります。そうしたことについて先生方も子どもたちの質問に答えられるよう、副読本などを活用して知識を得ることができるようにすることが必要ではないかと思います。
時代も変わるわけですから、一度決めたらこれですっとというのではなく、価値観も変化しつつあるということを伝えることが必要だと思います。

○中野谷学校教育課長 指導内容が大きく変わる場合には、教科書会社からホームページへの掲載や、学校への資料配布により情報が提供されるようになっていきます。

○弓削委員長 ご質疑も尽きたようでありますから、以上で質疑等を終結いたします。

○弓削委員長 それでは、ただ今議題となっております議第2号について、事務局説明のとおり決するにご異議ございませんか。

(異議なし)

○弓削委員長 ご異議なしと認めます。よって、議第2号について、事務局説明のとおり決しました。

○弓削委員長 次に、日程第3、協議1「平成24年度高山市教育委員会学校訪問の実施について」を議題といたします。
事務局より説明願います。

○中野谷学校教育課長 <資料に基づき説明>

- 弓削委員長 事務局の説明は終わりました。ご質疑等はございませんか。
- 北村委員 一昨年までは教育委員との懇談時間と学校教育課が行う指導助言の時間を一緒に行っていました。しかし指導助言の内容が細かくなりがちで時間もかかるため、昨年から教育委員との懇談時間と学校教育課が行う指導助言の時間を分けてましたが、それでも懇談時間は短いと感じています。教育委員と校長、教頭等との話す時間をもっととっていただきたい。一方、学校教育課が行う指導助言の内容についても、どのような指導が行われているのか知ることは教育委員にとっても必要な面もあると思います。もう少しこの懇談方法については協議していただきたいと思います。
- 保谷委員 懇談時間が30分では短く、教育委員からの意見だけで一方通行の懇談としかならない状況である。また学校教育課が行う指導助言について、学校訪問とは別の日程でできないかということもあります。
- 打江委員 学校教育課が行う指導助言の内容については、教育委員にとっても参考になります。昨年懇談の内容を簡潔にする意味もあって分けてましたが、指導内容についても聞きたいという思いがあります。
- 中村教育長 学校訪問では細かな指導助言に加えて、大局的なことについても懇談していかなければなりません。今年度から市の教育の方針と重点に「新しい公共としての学校づくり」を追加しているが、校長方はどのように考えているのか聞いて、教育委員と共有できるようにしなければならない。
しかし、60分の懇談時間を全てそうした内容とするには、逆に長すぎるかもしれないし、養護教諭、事務職員、図書館指導員、用務職員の方を長時間拘束することもあると思う。養護教諭等に対しては、授業参観の中でそれぞれの現場で話を聞くといった方法もあるのではないかな。
事務局にて、教育委員の意見を踏まえ今年の学校訪問の方法を再度練ってみたらどうだろうか。
- 弓削委員長 教育委員と先生方が意見を交わし合える、ディスカッションできる懇談方法であればよいと思います。常に一方的な懇談となりがちであり、教育委員も短い訪問時間の中で学校の様子を見て意見を言っているため、逆に誤りがあれば先生方から修正してもらえくらの懇談ができたと思います。
また困っていることがあれば話していただき、知恵が出せるかどうか分かりませんが一緒に考えていくことも大切ではないでしょうか。
- 保谷委員 昨年はじめて養護教諭、事務職員、図書館指導員、用務職員の方が懇談の席についたのですが、忙しい方もみえ退席する状況がありました。先程も話が

ありましたが、それぞれの仕事の現場にて話を聞いたほうがいいのではないかと思います。どうしても教育委員に話しておきたいことがあれば、その時は懇談の席でお話しをしていただくということではどうでしょうか。

また、指導助言の方法についても、訪問した際に気付いたことはその場で指導助言しておいた方がいいのですが、あまり細かい内容になると時間もかかりすぎます。そこで、後日レポート等にまとめて学校へ配布する方法であれば、書類も残り、時間も短縮できるため、そうした方法でもいいのではないかと思います。

- 中村教育長 校長先生をはじめ学校側の説明方法も調整できないだろうか。資料についても一目見て分かりやすいものとしたり、説明も強調したいことのみを直接話してもらうようにすれば、ずいぶんと分かりやすく変わってくるだろうと思います。
- 学校訪問の方法としてほしい方向性がまとまってきましたが、是非教育委員と学校側が思いを共有できるようなものとしてもらいたい。

- 中野谷学校教育課長 今程教育委員の皆様からご意見いただいた懇談方法やルート等について検討しまして、後日プリントにてお知らせするように進めさせていただきたいと思います。

- 弓削委員長 ご質疑も尽きたようでありますから、以上で質疑等を終結いたします。

- 弓削委員長 それでは、ただ今議題となっております協議 1 号について、事務局説明のとおり決するにご異議ございませんか。

(異議なし)

- 弓削委員長 ご異議なしと認めます。よって、協議 1 号について、事務局説明のとおり決しました。

- 弓削委員長 次に、日程第 4、報告 1「平成 23 年度高山市教育振興会議の経過について」を議題といたします。
- 事務局より説明願います。

- 野畑教育総務課長 <資料に基づき説明>

- 中野谷学校教育課長 <資料に基づき説明>

- 弓削委員長 事務局の報告は終わりました。ご質疑等はございませんか。

○打江委員 「教育における新しい公共空間づくり」において進めている朝日中学校区のモデル事業を、今年度は久々野、一之宮などでも実施するのでしょうか。

○中野谷学校教育課長 地域によって形は少しずつ異なってきますが、新しい公共としての学校づくりは進めていきたいと考えています。

○打江委員 以前社会教育委員と懇談をした際、ある委員の方が「日和田地域には子どもが少ない。どのように子どもや学校と関わっていくのがいいのか分からない。」と話していました。学校と地域の関わり方には難しい点もあると感じましたが、どのような方法が考えられるのでしょうか。

○中野谷学校教育課長 朝日の学校では、自ら学んでいく子を育てたいというのを共通のテーマとして持っています。その願いを学校から家庭や地域に発信していくことが必要であり、そのために地域としてどのようなことが協力できるのかということだと思います。朝日地域ではその方法の一つとして郷土学習に取り組んでいるところです。

○中村教育長 朝日中学校区モデルにある朝高子どもしとねる会が発足する前には、3回程がやがや会議を開き、子どもがいる方も子どもがいない方も地域の子どものとして、目指す子ども像を共有すること、重ね合わせることを行ってきました。共有することによって次の具体的なアクションが起こせるようになってきます。
更に朝高子どもしとねる会にはいろいろな地域の代表の方が入っていますので、学校からの発信だけでなく、地域からも情報を発信してもらうように取り組んでいます。
全市的には他の学校においても、23年度中に何らかの形で地域と連携する仕組みづくりのスタートは切っていますので、今年度具体的に向かっていければと考えています。

○弓削委員長 ご質疑は尽きたようでありますので、以上で質疑を終結いたします。

○弓削委員長 次に、日程第5、報告2「スクールバスの購入について」を議題といたします。
事務局より説明願います。

○野畑教育総務課長 <資料に基づき説明>

○弓削委員長 事務局の報告は終わりました。ご質疑等はございませんか。

(質疑なし)

○弓削委員長 ご質疑は無いようでありますので、以上で質疑を終結いたします。

○弓削委員長 それでは、次にその他に入りたいと思います。「後援名義使用について」の報告をお願いします。

○野畑教育総務課長 <資料に基づき報告>

○弓削委員長 事務局の報告は終わりました。ご質疑等はございませんか。

(質疑なし)

○弓削委員長 ご質疑は無いようでありますので、以上で質疑を終結いたします。

○弓削委員長 その他に報告がありましたら順次報告願います。

○野畑教育総務課長 <市民海外派遣事業について>

3月定例会で報告させていただいた市民海外派遣事業について、友好都市や姉妹都市との絆を更に深めるため、派遣先の一つがカナダのバンクーバーからアメリカのデンバーに変更となりましたのでご報告させていただきます。

<高山市誰にもやさしいまちづくり推進会議委員の推薦について>

当該委員には、平成24年3月まで弓削委員長に就任していただきました。今回高山市より任期の満了に伴う新たな委員の推薦依頼がありましたので、教育委員会として委員を推薦していきたいというものでございます。なお、委員は委員長が就任ということではなく、教育委員の中から推薦となりますのでお願いいたします。

○弓削委員長 私と打江委員は以前就任していますので、今回は保谷委員に就任をお願いしたいのですがいかがでしょうか。

○保谷委員 委員就任の件については承諾いたします。

○弓削委員長 それでは高山市教育委員会として保谷委員を推薦いたします。

○弓削委員長 次に、次回5月定例会の開催日時について決定したいと思います。

【5月25日 午前10時】

○弓削委員長 次回5月高山市教育委員会定例会を5月25日（金）午前10時といたします。

○弓削委員長 それでは以上をもちまして、本日の議事日程が全部終了いたしましたので本日の会議を閉じ、平成24年度第1回高山市教育委員会定例会を閉会いたします。

午前11時50分閉会